

サポート資源提供システム 2004年度事業報告

2004年4月1日～2005年3月31日

サポート資源提供システム 事務局
特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター

目 次

1．実施事業概要	2
2．システム運用報告	
2 - 1 システム運営委員会	3
2 - 2 サポート資源提供	
2 - 2 - 1 物品等提供	4
2 - 2 - 2 パソコン等提供	5
2 - 2 - 3 地域貢献サポートファンドみんな（みんなファンド）	6
(1) 概要	
(2) みんなファンド（本体ファンド）	
(3) ふくふくファンド（冠ファンド）	
(4) ろうきん地域貢献ファンド（冠ファンド）	
(5) 団体指定寄附の提供	
(6) みやぎNPO夢ファンド（冠ファンド）	
(7) 仙台五城ライオンズクラブ（公募助成）	
2 - 3 情報発信	15
2 - 4 関連事業報告	
2 - 4 - 1 NPO情報ライブラリー	16
2 - 4 - 2 せんだいCARES	16
2 - 4 - 3 地域貢献活動相談センター	16

1. 実施事業概要

「サポート資源提供システム」の本格運用3年目、その資金提供プログラム「地域貢献サポートファンドみんな（みんなファンド）」の運用2年目となる2004年度事業の特徴としては、冠ファンドである「みやぎNPO夢ファンド」の助成事業開始により、その支援総額が前年度と比べて大きく増加したことが挙げられる。

前年度と同様、オフィス什器・備品や消耗品といった「物品等提供」、中古パソコンや周辺機器を提供する「パソコン等提供」、そして「資金提供＝みんなファンド」の3プログラムで資源提供が行われた。年間の実績としては表1に示す通り、のべ83団体に約800万円相当の支援を実施することができた。この支援総額は前年度実績比で60%増となっている。なおシステムの運用当初（2001年9月）からの支援総額の累積は2,176万円となった。

表1 サポート資源提供システム 2004年度 資源提供実績

	提供先団体数 (のべ数)	提供点数	金額換算価値 (*)
物品等提供	33団体	322点	96万円
パソコン等提供	15団体	15点	31万円
資金提供 ＝みんなファンド	35団体	-	666万円
計	83団体	-	793万円

(*) 物品・パソコンは一般の中古市場価格にて換算

前年度に引き続き、システムの運営については、運営委員会との協議の上で進められた。さらに、システムの運営状況について随時ホームページ上で公開するとともに、資源提供を受けたNPOの情報については、関連事業であるNPO情報ライブラリー等を通して積極的に発信し、透明性・公開性の高いシステム運営を行った。

サポート資源提供システム <http://www.minmin.org/SSS/>

みんなファンド <http://www.minmin.org/fund/>

ろうきん地域貢献ファンド <http://www.minmin.org/fund/roukin/>

みやぎNPO夢ファンド <http://www.minmin.org/fund/miyagi/>

NPO情報ライブラリー <http://www.minmin.org/Library/>

また、関連事業としてキャンペーン「せんだいCARE S 2004」を実施、多くの関連企業・団体の協力を得て、企業人やその周囲の人々がNPOの活動により参加しやすくなるような情報提供を行った。

2. システム運用報告

2-1 システム運営委員会

サポート資源提供システム協賛企業・団体、システム提携企業・団体とシステム事務局（せんだい・みやぎNPOセンター）からなる運営委員会を年度内に3回開催し、事業報告やシステムの運営状況について協議を行った。

表2 サポート資源提供システム運営委員会 2004年度 開催概要

	日時	会場	検討事項
第1回	2004年5月24日 16:10~17:45	仙台市市民活動 サポートセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・2003年度事業報告・収支報告 ・2004年度事業計画・収支予算案 ・ろうきん地域貢献ファンド審査員について ・「みやぎNPO夢ファンド」報告
第2回	2004年8月2日 14:05~15:00	せんだい・みやぎ NPOセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・事業報告（物品提供、パソコン提供、みんなみんファンド他） ・みんなみんファンド（本体ファンド）助成実施計画案について
第3回	2004年11月11日 16:10~17:30	せんだい・みやぎ NPOセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・事業報告 ・せんだいCARE S2004について

表3 システム運営委員（協賛企業・団体、提携企業・団体 2005年3月末現在）

【協賛企業・団体】 (株)アート・システム イートス(株) (株)一ノ蔵 (株)鈴木魁文堂 (株)ステップ 東北電力(株)宮城支店 東北労働金庫宮城県本部 ハリウコミュニケーションズ(株)	【提携企業・団体】 東北労働金庫宮城県本部 (協)日専連仙台 (株)日専連ライフサービス みやぎNPO夢ファンド(宮城県) (社)宮城県情報サービス産業協会(MISA) 宮城県労働者福祉協議会 ヤマト運輸(株)東北支社 (敬称略・50音順)
---	---



第2回 運用委員会の様子



第3回 運用委員会の様子

2 - 2 サポート資源提供

2 - 2 - 1 物品等提供

今年度は表4に示すように、のべ33団体へ322点の物品を提供することができた。中古市場価格で換算すると、約96万円相当になる。

表4 サポート資源提供システム 2004年度 物品提供実績

提供者（敬称略）	提供資源	提供先団体数	提供点数	提供時期
せんだい・みやぎNPOセンター	什器・備品	4団体	28点	2004年5月
東京海上日動火災保険株式会社	什器・備品	7団体	63点	2004年11月
日本たばこ産業株式会社	什器・備品	17団体	197点	2004年11月
東北ユーザック株式会社	什器・備品	5団体	34点	2005年2月
		のべ33団体	322点	96万円相当

今年度は3社より物品提供をいただき内覧会を開催した。東京海上日動火災保険（株）様からは通算2度目、日本たばこ産業（株）様からは通算3度目の提供となった。また、東北ユーザック（株）様は、地域貢献サポートファンドみんなの運用開始時に行ったドネーションパーティにお越しいただいた縁で今回提供のお声がけをいただいた。

当センターからの提供分については、例年事務所のレイアウト変更時に備品の入替や余剰が発生するため実施しているもので、特に今回はややまとまった数の提供となった。

NPO側では、年度の開始時期に事業拡充や事務所移転の機会が多く、備品等の需要が高まるが、システムからの提供時期が重なるとは限らない。内覧会でマッチングしきれない備品を一定期間保管しておける環境があれば、さらに資源を有効に活用できるのだが、現状ではセンター内のスペースの限界があるため、ままならないところである。仮に一時保管が可能となれば、提供時期と需要時期が異なる場合でも、調整が可能となることも考えられる。今後、NPO側の備品需要が高まる要素があるため、物品等の提供が可能な企業や保管スペース等の情報の収集に努めたい。



[2004年11月の内覧会の様子](#)
東京海上日動火災保険株式会社様



[2004年11月の内覧会の様子](#)
日本たばこ産業株式会社様



[2005年2月の内覧会の様子](#)
東北ユーザック株式会社様

2 - 2 - 2 パソコン等提供

(社)宮城県情報サービス産業協会(MISA)様のPC - Bridge事業との連携・ご協力により、前年度に引き続き中古パソコン等の提供を実施した。事業の円滑な運営を図り、提供状況の確認や募集の情報を交換するため、MISA様とせんだい・みやぎNPOセンターによる連絡会を開催した。また、随時担当者間のミーティングを随時行ったり、さまざまな会合でPRを実施した。

第1回情報連絡会 2004年9月12日 せんだい・みやぎNPOセンターにて

MISA 総会懇親会にてPR 2004年6月10日

Eみやぎ総合フェア2004にてPR 2004年10月26日

2004年度の提供については、1回(15台、2005年3月期)の提供にとどまった。今回は年度に1回、そして15台中11台がノートタイプの提供ということもあり、NPO側の関心も集中、のべ68台、22団体からの申込みがあった。2004年度の提供実績は、2003年度の67台を大きく下回ったこともあり、今後のPC提供の周知に課題が残った。

なお、今回の提供(仙台商工会議所様、MISA様)では、仙台商工会議所様のご要望により、新聞記者を招き贈呈式を実施した。この様子が2005年5月に河北新報に掲載になったことで、個人や企業からの問合せが相次いでいる状況である。

表5 サポート資源提供システム 2004年度 中古パソコン等提供実績

提供者(敬称略)	提供資源	提供先団体数	提供台数	提供時期
(社)宮城県情報サービス産業協会	デスクトップ	4団体	4台	2005年3月
	ノート	11団体	11台	2005年3月
		15団体	15台	30.5万円相当

提供数のうち、ノート4台、デスクトップ4台については、仙台商工会議所様からの提供

2 - 2 - 3 地域貢献サポートファンドみんな（みんなファンド）

（１）概要

前年度までの助成メニュー

- ・みんなファンド（本体ファンド）
- ・ふくふくファンド（宮城労福協社会貢献活動基金）
（冠ファンド＝宮城県労働者福祉協議会様）
- ・ろうきん地域貢献ファンド（冠ファンド＝東北労働金庫宮城県本部様）

に加えて、今年度より、第3の冠ファンド

- ・みやぎNPO夢ファンド（冠ファンド＝宮城県）

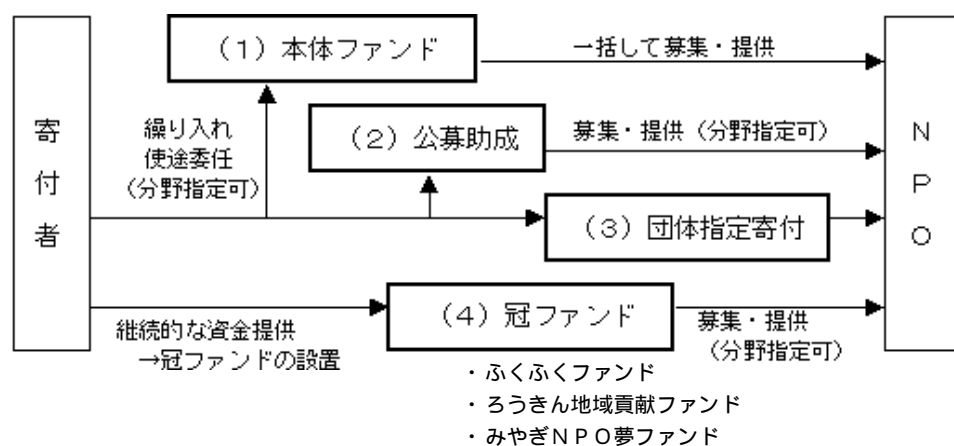
による助成が始まった。これにより、助成総額は前年度の265万円から666万円へと大きく増加した。

表6 地域貢献サポートファンドみんな 2004年度 資金提供実績

提供者（敬称略）	提供資源	提供先団体数	提供総額	提供時期
みやぎNPO夢ファンド（宮城県）	助成金（冠ファンド）	11団体	370万円	2004年5月
宮城労働金庫 共済会	団体指定寄付	1団体	20万円	2004年6月
東北労働金庫 宮城県本部	助成金（冠ファンド）	10団体	151万円	2004年7月
宮城県労働者福祉協議会 （ふくふくファンド）	助成金（冠ファンド）	5団体	50万円	2004年10月
みんなファンド（*1）	助成金（本体ファンド）	5団体	50万円	2004年10月
仙台五城ライオンズクラブ	助成金（公募助成）	3団体	25万円	2004年10月
		のべ35団体	666万円	

（*1）8名・団体からの寄付金をあわせて提供

図1 地域貢献サポートファンドみんな（みんなファンド）助成メニュー



(2) みんなみんファンド(本体ファンド)

地域の市民・企業・団体等の皆様からの寄附金によって運営される「本体ファンド」には、2005年3月末までに以下の方々より、総額1,068,873円(前年度からの繰越を含む)の寄附金をいただいた。

表7 みんなみんファンド(本体ファンド)へ寄附をいただいた皆様

(株)アート・システム様、社員ご一同様	
特定非営利活動法人いしのみきNPOセンター様	
スマイルハートクラブ様、三井住友海上火災保険(株)様	
仙台冠ロータリークラブ様、	(株)日専連ライフサービス様
宮城県中小企業家同友会様	ラッキーコアフル様、お客様一同様
ろうきん「NPO寄付システム」寄付者の皆様	匿名希望(3名様)

2004年8月末までにいただいた684,878円の寄附金のうち、2004年度の助成事業費を555,555円とし、このうち規定の手数料を差し引いた50万円を、助成金として提供することとした。寄附金の残額については、2005年度に繰越とした。

「本体ファンド」助成の公募・審査の手続きは、冠ファンドの1つである「ふくふくファンド」と合わせて実施した。詳細については、次項「ふくふくファンド」を参照のこと。

審査の結果、「本体ファンド」からは、表8に示す5団体に各10万円の助成金が提供された。各団体から寄せられた助成事業の実施報告については、ホームページに掲載し、広く公開した。

みんなみんファンド「本体ファンド」助成事業実施報告のページ

<http://www.minmin.org/fund/minmin/report2004.htm>

表8 みんなみんファンド(本体ファンド) 2004年度 助成対象団体

団体名	事業名	助成額
子ども虐待防止ネットワーク・みやぎ (キャブネット・みやぎ)	虐待当事者及び援助者でもある講師の講演録 (小冊子)作成・配布事業	10万円
特定非営利活動法人 ソキウスせんだい	精神障害者地域生活支援センター開設に伴う 職員研修事業	10万円
特定非営利活動法人 いきいき亘理	NPO法人設立に伴う団体紹介パンフレットの 作成、および地域の緑化・清掃活動	10万円
つきだて花の会	築館町の高森遺跡周辺の緑化活動。パンジー の植付	10万円
宮城英語教育支援協会	「たのしい えいご フェスタ」の開催。講 演会、英語演劇の公演などを行う。	10万円

(3) ふくふくファンド(冠ファンド)

宮城県労働者福祉協議会様からの寄附金による「ふくふくファンド」(宮城労福協社会貢献活動基金)については、今年度、総額 50 万円の助成が行われた。助成の公募・審査の手続きは、みんなファンド(本体ファンド)と合わせて以下の通り実施された。

応募受付 8月20日(金)～9月24日(金)

募集要項 <http://www.minmin.org/fund/minminfund2004.htm>
http://www.minmin.org/fund/minminfund2004_2.htm

応募総数 18件

応募一覧 http://www.minmin.org/fund/minminfund2004_4.htm

書類審査会 10月4日(月) 会場 せんだい・みやぎNPOセンター 会議室

<審査員(敬称略)>

五十嵐 朗 (社団法人日本損害保険協会東北支部 事務局長)

江幡 正彰 (株式会社アート・システム 代表取締役)

大久保朝江 (特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる 代表理事)

加納 雅明 (東北電力株式会社宮城支店 企画管理部門広報・地域交流グループ主任)

紅邑 晶子 (特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター常務理事・事務局長)

(加納委員については、当日体調不良にて審査会欠席、書面審査をしていただいた)

審査会の様子、審査結果 http://www.minmin.org/fund/minminfund2004_3.htm

助成金贈呈式 10月30日(土) 会場 せんだいメディアテーク

贈呈式の様子 http://www.minmin.org/fund/minminfund2004_5.htm

審査の結果、「ふくふくファンド」からは、表9に示す5団体に各10万円の助成金が提供された。各団体から寄せられた助成事業の実施報告については、ホームページに掲載し、広く公開した。

「ふくふくファンド」助成事業実施報告のページ

<http://www.minmin.org/fund/fukufuku/report2004.htm>

表9 ふくふくファンド 2004年度 助成対象団体

団体名	事業名	助成額
特定非営利活動法人 石巻スポーツ振興サポートセンター	第1回東北障害者サッカー交流会の開催。	10万円
特定非営利活動法人 みやぎ「こうでねいと」	施設職員向け「民間企業対応マニュアル」作成事業。	10万円
東北HIVコミュニケーションズ (THC)	仙台市のゲイコミュニティにおける「HIVを語る場」の創出事業。映画上映会、講演会の開催など	10万円
特定非営利活動法人 さいしょはグー!	団体パンフレットおよびホームページの作成	10万円
特定非営利活動法人 シャロームの会	「精神障がい者を支えるネットワークづくり・拡大セミナー」の開催。	10万円

(4) ろうきん地域貢献ファンド(冠ファンド)

東北労働金庫の預金者の皆様から「ろうきんNPO寄付システム」を通じていただいた寄附金と、利子の一部(30%)が寄附される社会貢献定期預金「ろうきんNPOサポーターズ」からの寄附金、そして、東北労働金庫宮城県本部様からのマッチング寄附金とを合わせて原資とする本ファンドからは今年度、総額 150 万円の助成金をご提供いただいた。助成金の提供は、以下の通り実施された。

応募受付 6月1日(火)～6月30日(水)

募集要項 <http://www.minmin.org/fund/roukin/roukin200406.htm>

応募総数 26件(応募総額¥7,183,725-)

応募一覧 http://www.minmin.org/fund/roukin/roukin200406_2.htm

書類審査(第1次選考)会 7月15日(木) 会場 東北労働金庫 9階会議室

<審査員(敬称略・順不同)>

大沼 信一 (東北労働金庫宮城県本部 宮城県本部副本部長)

今野 昭 (東北労働金庫宮城県本部 総務・管理グループ担当部長)

小野寺純一 (東北労働金庫宮城県本部 営業推進グループ次長代理)

紅邑 晶子 (せんだい・みやぎNPOセンター 常務理事・事務局長)

青木ユカリ (せんだい・みやぎNPOセンター 事務局次長)

審査会の様子、審査結果 <http://www.minmin.org/fund/roukin/roukin200407.htm>

点数の上位10団体が、公開コンペ(第2次選考)へ進出した。

公開コンペ(第2次選考) 7月30日(金) 会場 東北労働金庫 8階会議室、9階会議室

<審査員(敬称略・順不同)>

星 新一 (連合宮城 会長) 選考委員長

佐竹元春 (東北労働金庫 宮城県本部長)

浅見紀夫 (株式会社一ノ蔵 副会長)

鈴木和行 (株式会社鈴木魁文堂 代表取締役社長)

加藤哲夫 (せんだい・みやぎNPOセンター 代表理事・常務理事)

審査会の様子、審査結果 <http://www.minmin.org/fund/roukin/roukin200408.htm>

審査の結果、公開コンペで高得点を挙げた上位5団体には申請の満額が、下位5団体には部分助成が行われることになった。部分助成の団体には合わせてコピー用紙一式が提供された。

上位5団体のうち、「なかよし劇団」の助成申請額が5万円であったため、助成総額(150万円)と上位5団体への助成額(125万円)との間に差額が生じた。この差額(25万円)について、選考委員会で協議をした結果、下位5団体に配分することになったもの。

また、「NPO寄付システム」の「おまかせ」コースに寄附をいただいた9,800円については、助成総額とは別枠の特別賞として提供することとし、協議の結果、「なかよし劇団」へ提供されることになった。

表 10 ろうきん地域貢献ファンド 2004 年度 助成対象団体

満額助成		
団体名	企画内容	助成額
百姓環境フォーラム	環境と食、農の安全安心ネットワークづくり事業 シンポジウムの開催と地域ネットワークの形成	30万円
特定非営利活動法人くもりのち晴れ	コミュニティレストランの開設。設備投資費など	30万円
認定特定非営利活動法人 日本ガーディアンエンジェルス 仙台支部	「地域安全活動」～ We DARE TO CARE! ～ 地域のパトロール、落書き消しなど	30万円
なかよし劇団	なかよし劇団20周年記念講演。	5万円
特定非営利活動法人 ぶたいサポート・みやぎNPO	舞台技術初級講座 初心者向けの舞台技術・安全管理などに関する講座の開催。	30万円
部分助成		
団体名	企画内容	助成額
「少年非行」を考えるみやぎ市民フォーラム	「非行少年」の更生に関する映画上映・シンポジウム開催を通じた、先進国事例の紹介・普及事業。	13万円
CAP・みやぎ	中学生向けのCAPプログラム提供に向けた人材育成、および実践	3万円
特定非営利活動法人 さいしょはゲー!	知的障がい者や高齢者の社会参加を広めるためのアレンジメントフラワーや絵画教室の開催。	3万円
東北HIVコミュニケーションズ(THC)	仙台市におけるMSMに対するHIV予防啓発に関する人材育成事業	3万円
移動サービス・ネットワーク みやぎ	移動サービスの運営協議会設置に向けたネットワーキングなどの支援事業の実施	3万円

事業終了後、各団体から寄せられた助成事業の実施報告については、ホームページに掲載し、広く公開した。

「ろうきん地域貢献ファンド」助成事業実施報告のページ

<http://www.minmin.org/fund/roukin/report2004.htm>

(5) 団体指定寄附の提供

宮城労働金庫共済会様より、「せんだいCARES2004事業」への指定寄附として、「特定非営利活動法人せんだいみやぎNPOセンター」宛に20万円の寄附が行われた。

(6) みやぎNPO夢ファンド(冠ファンド)

宮城県の拠出金と市民からの寄附金による「みやぎNPO夢ファンド」からは、以下の通り助成が行われた。

(a) 運用委員会の開催

ファンドの適切な運営を図るため、以下の9名からなる運用委員会を5月8日(土)、5月15日(土)、1月15日(土)の計3回開催した。助成金の書類審査および公開コンペによる審査は、運用委員が行った。

<運用委員名簿(敬称略)>

学識経験者	山田 晴義	宮城大学事業構想学部教授	委員長
	江尻 行男	東北福祉大学教授	
NPO関係者	大久保 朝江	特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる代表理事	副委員長
	兵藤 博行	高清水ソフトウェアカンパニー代表	
	中村 祥子	特定非営利活動法人グループゆう代表理事	
	木村 孝	特定非営利活動法人不忘アザレア常任理事兼事務局長	
企業関係者	間庭 洋	仙台商工会議所常務理事兼事務局長	
	佐々木 武夫	エースシステム株式会社代表取締役	
宮城県	渡邊 光子	宮城県環境生活部次長	

(b) 平成16年度助成事業の実施

初年度の助成となる、平成16年度助成事業については、以下の通り実施された。

応募受付 3月20日(土)～4月8日(木)

応募件数	(1)人材育成支援プログラム	9件(助成枠6)
	(2)ステップアップ支援プログラム	16件(同2)
	(3)スタートアップ支援プログラム	14件(同8)

応募一覧 <http://www.minmin.org/fund/miyagi/oubo2004.htm>

書類審査(第1次審査) 4月下旬

書類審査結果 <http://www.minmin.org/fund/miyagi/syoruituuka2004.htm>

書類審査通過件数	(1)人材育成支援プログラム	9件
	(2)ステップアップ支援プログラム	4件
	(3)スタートアップ支援プログラム	11件

公開コンペ(第2次審査)

- (1)人材育成支援プログラム 5月8日(土) みやぎNPOプラザ 交流サロン
公開コンペの様子 http://www.minmin.org/fund/miyagi/compe2004_01.htm
- (2)ステップアップ支援プログラム 5月8日(土) みやぎNPOプラザ 交流サロン
公開コンペの様子 http://www.minmin.org/fund/miyagi/compe2004_01.htm
- (3)スタートアップ支援プログラム 5月15日(土) みやぎNPOプラザ 交流サロン
公開コンペの様子 http://www.minmin.org/fund/miyagi/compe2004_02.htm

3プログラム合計で、13団体へ総額370万円(精算額)の助成が行われた。

助成事業中間報告書の提出 12月20日(月)
 助成事業報告会 2005年1月15日(土)
 報告会の様子 <http://www.minmin.org/fund/miyagi/houkoku2004.htm>
 ステップアップ支援プログラムの助成継続決定 1月末
 助成継続審査について <http://www.minmin.org/fund/miyagi/stepup2004.htm>
 助成事業終了 3月末
 助成事業最終報告書の提出 4月末
 各団体からの報告書 <http://www.minmin.org/fund/miyagi/report2004.htm>

表 11 みやぎNPO夢ファンド 人材育成支援プログラム 平成 16 年度助成事業一覧

団体名(得点順)	応募事業名	助成額
特定非営利活動法人 グループゆう	ハンディキャップを持つ子どもと楽しく遊ぶサポーターを育てよう	15万円
東北HIVコミュニケーションズ (THC)	エイズ電話相談対応力強化研修事業	15万円
特定非営利活動法人 宮城県断酒会	自助グループのための組織運営研修事業	15万円
特定非営利活動法人 あかねグループ	福祉NPOレベルアップ研修	12万円
せんだい杜の子ども劇場21	想いを実現するために	15万円

表 12 みやぎNPO夢ファンド ステップアップ支援プログラム
平成 16 年度助成事業一覧

団体名(得点順)	応募事業名	助成額
特定非営利活動法人 仙台夜まわりグループ	ホームレス・生活困窮者への就労・起業支援事業	100万円
子ども虐待防止ネットワーク・みやぎ(キャブネット・みやぎ)	子どもの虐待対応ワークショップ 県内キャラバン	100万円

表 13 みやぎNPO夢ファンド スタートアップ支援プログラム
平成 16 年度助成事業一覧

団体名(得点順)	応募事業名	助成額
親子関係を考える会	「非行少年」親のグループケア	15万円
水魚方式研究会	伊豆沼バス・バスターズ大作戦 支援 バージ大作戦	16万円
シナイモツゴ郷の会	NPO法人設立シンポジウム「生態系保全とブラックバス対策」	20万円
NPOパソコンママネット	テレビゲームやパソコンと子どもがよりよく付き合うためのアンケート調査と講習会	15.8万円 (注)
特定非営利活動法人 シャロームの会	NPO法人シャロームの会 設立記念講演会並びに交流会	20万円
片平たてもの応援団	(仮)片平地区まちづくりシンポジウム開催事業	15万円

(注)最終精算で、助成額は12万円となった。

(c) 寄附金の募集

年度内に、4件、671,232円の寄附金をいただいた。これらの寄附金は、前年度いただいた75万円と合わせて、平成17年度助成事業の原資とした。

<平成16年度中にみやぎNPO夢ファンドに寄附をいただいた皆様>

宮城県環境生活部職員有志様、お祭りくらぶ様、匿名希望(2件)

(d) 平成17年度助成事業の実施

平成17年度助成事業については、以下の助成プログラムにより実施した。2005年3月までの事業実施状況は以下の通り。

表14 みやぎNPO夢ファンド 平成17年度助成プログラム

プログラム	助成枠	助成額	助成総額 (最大)
(1)人材育成支援プログラム	9団体程度	10～15万円	135万円
(2)ステップアップ支援プログラム	3団体(注)	100万円	300万円
(3)スタートアップ支援プログラム	10団体程度	15～20万円	200万円
		計	635万円

(注)うち2団体は、平成16年度助成事業からの継続。新規応募は1団体。

応募受付 2月1日(火)～4月8日(木)

人材育成支援プログラム、スタートアップ支援プログラム 2月1日～4月18日

ステップアップ支援プログラム 2月1日～2月28日

ステップアップ支援プログラム 応募件数 10件(助成枠1)

応募一覧 http://www.minmin.org/fund/miyagi/stepup_oubo2005.htm

応募相談会の開催 応募受付期間中に4回開催。

ステップアップ支援プログラム書類審査(第1次審査) 3月上旬～中旬

書類審査通過件数 (2)ステップアップ支援プログラム 4件

書類審査結果 http://www.minmin.org/fund/miyagi/stepup_syorui2005.htm

(e) ファンド ロゴマークの募集・選定

ファンドの周知を図り、寄附を促進するために、ファンドのロゴマークを以下の流れで、公募により制定した。

2月上旬～3月末 ロゴマーク(案)公募

ファンドのホームページにて告知を行った他、「公募ガイド誌4月号(3月8日発売)」や各種ウェブサイト等に掲載し、広く周知を行った。

告知ページ <http://www.minmin.org/fund/miyagi/logobosyu2005.htm>

3月末 応募〆切 応募総数31点。

4月9日 平成17年度第1回運用委員会にて募集状況報告

みやぎNPOプラザにて、応募作品を展示し、来館した市民から投票を募ることとした。

選定は、市民票と、運用委員票(各委員10票の投票権)の合計数で行うこととした。

市民投票の様子 <http://www.minmin.org/fund/miyagi/logotouhyou2005.htm>

5月15日 平成17年度第3回運用委員会にて投票状況報告

(神奈川県横須賀市 奥野和夫氏の作品を採用)



(7) 仙台五城ライオンズクラブ (公募助成)

仙台五城ライオンズクラブ様の 40 周年記念事業の一環として、「子ども・青少年」に関わる活動に対して、25 万円の助成金の提供をいただいた。公募・審査の手続きは、以下の通り。

応募受付 9 月 15 日 (水) ~ 10 月 7 日 (木)

募集要項 <http://www.minmin.org/fund/gojou2004.htm>

応募総数 7 件

公開コンペ 10 月 12 日 (火) 会場 仙台ホテル 会議室

コンペの様子、審査結果 http://www.minmin.org/fund/gojou2004_2.htm

助成金贈呈式 10 月 24 日 (日) 会場 仙台ホテル

贈呈式の様子 http://www.minmin.org/fund/gojou2004_2.htm

助成事業終了 2005 年 4 月末

助成事業報告書提出 2005 年 5 月末

審査の結果、以下の 3 団体に計 25 万円の助成金が提供された。各団体から寄せられた助成事業の実施報告については、ホームページに掲載し、広く公開する予定。

表 15 仙台五城ライオンズクラブ 40 周年記念助成事業 助成対象団体

団体名	事業名	助成額
チャイルドライン in MIYAGI	団体の活動を広くアピールする「子どもフェスティバル 春休みスペシャル」の開催。2005 年 3 月、仙台市役所前市民広場にて開催。	10 万円
仙台ダルク	「東北 D A R C (ダルク) チャリティフェスタ」の開催。東北各地の姉妹団体が集まって、共同のチャリティイベントを開催する。	10 万円
特定非営利活動法人ライジングジェネレーションサポートネット	「コーディネーション & サッカーフェスタ in シェルコム」の開催。	5 万円

2 - 3 情報発信

前年度に引き続きシステムの運営状況については随時ホームページ上で公開し、透明性・公開性を確保したシステム運営を行った。

<各事業のページ一覧>

サポート資源提供システム <http://www.minmin.org/SSS/>

みんなファンド <http://www.minmin.org/fund/>

ろうきん地域貢献ファンド <http://www.minmin.org/fund/roukin/>

みやぎNPO夢ファンド <http://www.minmin.org/fund/miyagi/>

NPO情報ライブラリー <http://www.minmin.org/Library/>

この他にメール、FAX、郵送など各種手段を活用しながら、企業向け・NPO向けの情報発信を随時行った。2001年度に作成したリーフレットについても継続して配布を行い、約1,000部を配布した。(NPO向け約400部、企業向け約600部)。また、後述の「せんだいCARES2004」のパンフレット内に、システム紹介のページを設け配布することで、さらなる告知に努めた。

新聞等各種メディアへの掲載状況については、以下の通り。

<マスコミ掲載記事(一部、2005年度記事含む)>

2004年4月3日	河北新報	「NPO活動助成 希望団体を募集 県・8日まで」
2004年12月2日	朝日新聞	「NPOが変える 寄付のあり方 「目的」積極アピール」
2005年3月8日	河北新報	「宮城県 NPOに融資制度 労金と連携 低利でつなぎ資金」
2005年3月20日	河北新報	「NPO支援基金の助成希望団体募集 来月18日締め切り」
2005年4月28日	河北新報	「県・夢ファンド 本年度助成対象は仙台のNPO法人」
2005年5月5日	河北新報	「中古パソコン寄贈赤信号 NPOへの企業提供激減」
2005年5月10日	河北新報	「NPOへの資源提供システム 3年半で2,200万円相当」
2005年5月22日	河北新報	「NPO夢ファンド 助成19団体決まる」
2005年5月28日	河北新報	「成長願い「木」を表現 NPO夢ファンドロゴマーク決まる」

<その他掲載記事>

2004年6月号	社の伝言板ゆるる「人を創る！一步ミッションに近づく！そのための みやぎNPO夢ファンド」
2005年2月号	社の伝言板ゆるる「みやぎNPO夢ファンド 平成17年度助成事業募集」
2005年2月	シーズ=市民活動を支える制度をつくる会(NPOWEB)「助成金情報」
2005年2月20日	県からのお知らせ(新聞各紙) みやぎNPO夢ファンド 助成事業のご案内

2 - 4 関連事業報告

2 - 4 - 1 NPO情報ライブラリー

前年度に引き続き、団体情報の収集・発信を行った。登録団体数は引き続き増加しており、2005年3月末現在の登録団体は116団体となった。

2 - 4 - 2 せんだいCARE S

せんだいCARE Sは、仙台市内でNPOが開催する催しをパンフレットなどで広く告知し、そこへの市民の参加を促すことで、「NPOと一緒に仙台のまちの『お世話(CARE)』をしましょう」というキャンペーンである。

第2回目となった今年度のせんだいCARE Sは、2004年11月30日～12月4日の36日間にわたり開催された。今回は、自治体からの補助金と参加NPO(42団体)の参加費に加え、サポート資源提供システムに関係する企業を中心に33企業・団体から協賛金の形で資金協力をいただいた。さらに、パンフレットなどの配布についても協賛企業・団体の他に95の協力企業・団体の協力を受けた。マスコミにも共催、後援を依頼し23の協力を得て、昨年以上の広がりを見せる結果となった。

なお今回は、昨年のせんだいCARE Sサポーターとして協力していただいた企業人を中心に、企業・行政・NPOが実行委員会を立ち上げて実施、その事務局を共催団体であるせんだい・みやぎNPOセンターが担うという形で本事業を行った。実行委員会は、6月より10回にわたり開催され、なかでも、オープニングイベントの運営は設営準備から会場撤収まで、全て実行委員により行なわれた。その後の報告書作成の際も、編集会議や原稿執筆や座談会への出席など、実行委員の手で制作することとなった。

関連データ

・参加者数	40,553人(2003年:34,005人)
・参加NPO数	42団体(目標:50 昨年:25)
・協賛・協力企業数	128(目標:150 昨年:262)
・共催・後援 行政数	23(目標:30 昨年:22)
・NPO企画・イベント数	48(昨年:37)

2 - 4 - 3 地域貢献活動相談センター

企業・各種団体からの相談を随時受け付けた。

(以上)